



## 「節分イベント」が開催されました



## ◆鬼退治が「リハビリテーション」に繋がっています！

デイケアセンターにて「節分イベント」が開催されました。

このイベントでは、スタッフが鬼に扮して歩き、ご利用者さまが紙玉を投げることで福を呼び込むというものです。

デイケアの節分イベントでは、豆は使用せず、代わりに「紙玉」を使って豆まきが行われます。

豆まきに使う紙玉は、ご利用者さまが新聞紙を丸めて作っており、指先のリハビリテーションを兼ねています。指先には、たく

さんの神経が集まっているため、指先を鍛えることで「脳の活性化」や「血行促進・冷え性改善」「日常動作(ADL)の向上」が期待できると言われています。

ご利用者さまが住み慣れた土地で、自分らしく生きるため、デイケアでは一人ひとりに合わせたリハビリテーションの提供に努めています。季節行事を楽しみながらもリハビリができて、楽しさがリハビリになるようなイベントを今後も提供して参ります。

## 障害者雇用セミナーにて講師を務めました

## ◆指導方法や接し方で、心強い仲間になります！

成田市公津の杜にて病院・福祉施設に向けた「障害者雇用セミナー」が行われました。当院の副院長である菊池が講師を務め、障害者雇用を通じて組織強化と地域貢献を両立させる方法を伝えました。

現在、多くの業界で人手不足が訴えられています。医療・福祉も例外なく深刻な人手不足だと言われています。それは、医療機関が人命に関わる専門職の集ま

りであることなどが起因しています。

当院では、2015年頃から「光明会さま」と連携し、不足気味な職種で障害者雇用枠を確立しました。そして常時4~5名を雇用し、調理スタッフとして厨房業務を担っていただいています。決まった教育担当者を据えることで、スキルに合わせた指導が受けられ、今では重要な戦力として当院を支えています。



## ◆長寿国日本を支える「大豆」について、ご紹介します

豆腐、納豆、味噌、醤油など、日本食に欠かせない食材である「大豆」。現代の医療・栄養学においても「スーパーフード」として非常に高く評価され、「畑の肉」と呼ばれるほどの高タンパク食品です。

大豆には、糖尿病、脂質異常症、がん、骨粗鬆症、更年期障害などを改善するための多くの作用があるとされており、日本が「長寿国」となった要素のひとつと考えられています。アミノ酸やビタミン、ミネラルを豊富に含有することから「天然のサプリメント」とも言われており、特に「タンパク質」「カルシウム」「食物繊維」「イソフラボン」が栄養面において注目されています。

習慣に取り入れるのであれば、毎日大豆イソフラボン40~50mg程度が適正量と言われており、日常の食事なら納豆1パック(約40g)や豆腐1/2~2/3丁(約150g)が目安になります。(事務員R)

## 入院・転院のご相談

<空所情報>3/11現在  
回復期病棟(6床)療養病棟(0床)  
ホームページで確認できます

医療法人社団誠和会長谷川病院  
■地域連携部(MSW):渡邊、山本、安部  
TEL:043(444)0137  
FAX:043(444)0257  
HP:<http://www.hphasegawa.or.jp/wp/>

